

No. 2996

2021-2022年度

会長 松村 秀一
幹事 川口健太郎
R広報委員長 児嶋 正人



島海碩書

第2640地区
例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

2021-2022年度クラブ方針

クラブで親睦を深め一人一人がそして
クラブが地域を明るくする



本日のプログラム

令和4年3月3日 第2997回

- ・会員卓話：應地 正章 君
「にわか登山家」
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

次回のお知らせ

令和4年3月10日 第2998回

- ・会員卓話：北畑 貴行 君
- ・ソング：「それでこそロータリー」

前回の報告（第2996回例会）

開催日 令和4年2月17日(木)

点 鐘 [松村君]

ニコニコ箱の報告 [脇村SAA]

松村君：丸山さん、木本さん、IDM発表よろしくお願ひします。昨日、3回目のワクチン接種しました。
川口君：本日の後期IDMの発表、木本さん、丸山さん、宜しくお願い致します。
中元君：木本さん、丸山さん、本日のIDMの発表よろしくお願ひします。
橋爪(誠)君：後期IDMリーダーさん、発表ご苦労様です。よろしくお願ひいたします。
井上君：先日のIDM、皆様お疲れ様でした。丸山さん、木本さん、発表お願ひします。
木本君：本日の後期IDMの発表、宜しくお願い致します。
丸山君：本日、後期IDMよろしくお願ひします。
嶋田君：後期IDMの発表、よろしくお願ひします。
辻君：本日の後期IDMの発表、よろしくお願ひします。
脇村君：丸山さん、木本さん、後期IDM発表よろしくお願ひします。

出席報告 [木本例会運営委員長]

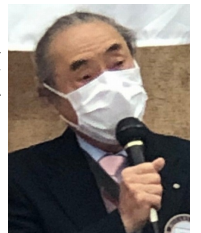
本日の会員数27名
(出席規定免除会員8名)
出席会員数20名
(出席規定免除会員6名)

会長の時間 [松村会長]

「配偶者のことを何と言いますか？」

自分の配偶者のことを言うとき幾つかの呼び方があります。男性の場合 妻、家内、嫁、奥さん、上さん、女房 などで。それぞれの言葉には本来の意味があります。

- 妻…夫(自分)の配偶者
- 家内…家の中で暮らす人、亭主の妻
- 嫁(嫁さん)…自分の息子の妻
- 奥さん(奥様)…相手(他人)の妻、既婚者と見える女性
- カミさん(上さん)…商人の妻、その家の女主人
- 女房…朝廷に仕える女官、妻のこと
女性の場合 夫、主人、旦那、亭主などがあります。こちらもそれぞれ本来の意味があります。
- 夫…女性を「妻」というのに対し、男性をいう語
- 主人…家の長、店の主(あるじ)、自分の仕える人
- 旦那(さん)…お布施をする人、商家の奉公人が自分の主人を敬っていう語、男の得意客、自分や他人の夫
- 亭主…その家の主(あるじ)、夫、茶の湯で茶事を主催する人



妻・夫が正しい呼び方といえます。言葉は時代と共に変わってゆくものなので他の呼び方も間違いではありませんがジェンダーのことを考えると使わないほうがベターだと考える人が増えてきたようです。より、ジェンダーニュートラルな呼び方は 連れ合い・相方・パートナーでしょうか？

他人の配偶者のことを何と呼ぶでしょうか？

自分の妻や相手の妻のことをどう呼んでも、親しい人で

あれば気にすることもないかもしれません。しかし、相手が上司やお客様となると少し迷うことがあります。

他人の配偶者の呼び方は 男性だと 旦那さん・ご主人 女性だと 奥さん が圧倒的に多いようです。

ジェンダーニュートラルの呼び方は 妻さん・夫さん・連れ合いさん、パートナーさん など考えられますがいまのところほとんど使われていません。

日本語はなかなかジェンダーニュートラルには変わってゆかないようですがねジェンダーバイアスの少ない言葉を選びたいと思っています。

幹事報告 [川口幹事]

本日の幹事報告5件ございます。

- ・第8回定例理事会内容報告。
- ・ハイライトよねやま263号報告。
- ・後期IDMへの御礼。
- ・地区ロータリーリーダーシップ研究会について。
- ・地区大会開催内容変更報告。

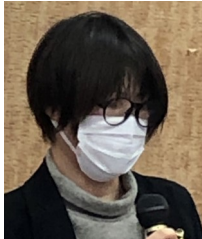
ロータリー友誌 [嶋田R広報委員]

【横組】

P.5

RI会長のメッセージが紹介されています。

インドで糖尿病にかかっているのは、7,400万人とも言われており、主な死因の一つとなっています。しかも、その約半数の人が糖尿病という診断を受けていない状況ということに驚きます。と、共に心が痛みました。2,000以上のロータリークラブとロータリーアクトクラブが協力して、全国1万ヶ所を超える血糖値検査を実施。これは記録認定団体アジアブックオブレコードにもなったと紹介されていました。



P.7～P.13

特集 平和構築と紛争予防月間

青少年交換の意義(未来平和の為に)

青少年交換のきっかけを作ったドナルド・ファーカー氏、また、青少年交換学生が考える平和が紹介されています。

P.14～P.17

ロータリー研究会(12/7・8)に開かれました。

P.18～P.21

ガバナーのロータリーモメント

ガバナーの活動やロータリーへの想いが紹介されています。

P.22～P.23

米山から世界の町へ

ミャンマー、マンダレーのトゥン・トゥンさんの原稿が紹介されています。ミャンマーは、また軍事政権となりました。この原稿を書いているさなか、店の前を銃を持った軍人が通りましたと書かれていたのが衝撃的でした。

P.24～P.25

すずちゃんのJust say cheese!

カメラに興味のある方はぜひ

P.30

「世界のロータリープロジェクト」が紹介されています。

P.36

2022-23年度版ロータリー手帳の予約受付中だそうです。各地区の会員数の増減がでています。

【縦組】

P.4～P.8

山岸吉郎さんの書かれた「武井武雄の世界」

面白いのでぜひ！読んで下さい。また、武井武雄さんの絵も魅力的なので、他の絵も見てみて下さい。

P.9～P.12

この人を訪ねて「岩瀬浩介さん」の事が紹介されています。

P.13

卓話の泉

パワハラに注意です。2020年6月からは大企業にパワハラ防止法が施行され、2022年4月からは中小企業にも適用されます。重要な点は職場でのパワハラ防止のため、雇用管理上必要な措置を講じることが企業に義務化されることです。続きはご自身で読んでみて下さい。

P.16～P.19

友愛の広場では、エッセー、ロータリークラブ訪問記。昨今ではリモートが多く取り入れられているみたいです。

P.20～P.28

それぞれの地域の色を出し、発想豊かなロータリー活動が紹介されています。

後期IDM

2021-2022年度 後期IDM

テーマ

「適正な年会費」

【第1班】



リーダー

丸山 芳孝 君

開催方法: 書面開催(アンケートにメールまたはFAXで事務局に回答)

開催日時: 2022年2月8日(火)～10日(木)

第1班(14名)

丸山芳孝 辻恭治 成川守彦 上野山栄作 松村秀一 嶋田恵 岩橋行信 橋爪正芳 脇村重徳 成川雅史

橋爪誠治 石垣泰伸 児嶋正人 北畑貴行

回答者13名

①通年、一般会計不足分をニコニコ会計から繰り入れたクラブ運営となっております。この現状についてご意見ください。

- ・ニコニコ会計からの繰り入れはしない方がよい 1名
- ・現状のやり方で行くべきだと思う 10名
- ・その他 3名
 - ・本来は、会費の一般会計から賄うべきですが、近隣クラブの会費を見ると、値上げは難しいと思う。
 - ・会員の人数をどうしたいか？による
 - ・まずはニコニコ箱献金を、それでも足りなければ会費見直し

②ニコニコ会計からの繰り入れなしで、一般会計のみでクラブ運営するにはどうすればよいと思いますか？

- 経費(ランニングコスト)を削減を検討
- 賛成 5名
 - 反対 5名
 - その他 3名
- クラブ運営経費についての質問
- ・コロナ禍の現状では今のままでいいです。
 - ・事業計画の中で無駄な経費や削減できる経費がないか再度検討すべきではないでしょうか？
 - ・経費の見直し
 - ・例えば、会員数を50体制にしたとしても、会費が現状のままでは時流に合わない気がします。
 - ・会員の負担が増えてしまうから。
 - ・まずは現状に沿った活動をした方がよいと思います。
 - ・大ナタを振らなければできない。1. 食事代を低料金へ 2. 事務委託費の検討 3. 家族助成金の撤廃
 - ・まずは現状でコロナ禍を乗り切る、その後、対応を検討する。
 - ・削減の材料が少ないと思います。過度の削減案はしない方がよいと思います。
 - ・会費を上げる。
 - ・コストとパフォーマンスの両立は難しいと思いますが、アイデアは出てこないです。

親睦活動のイベント規模縮小・削減(誕生日プレゼント、新春例会規模削減、親睦旅行など活動経費削減、等)

- 賛成 9名
- 反対 3名
- その他 2名
- ・例会のお弁当の値段を下げるのも良いかと思えます
- ・ロータリー本来の奉仕活動を中心に
- ・会員誕生日とかの必要かは？皆で祝うのは必要。旅行などはその都度会費で良いと思う。
- ・単調な例会になってしまわないか心配。
- ・少ない経費でやり方を工夫したらどうでしょう。
- ・ニコニコ会計の繰り入れをやらないとの前提での意見なので、親睦活動の予算を縮小しなければと考えます。
- ・まずはコロナ禍を活動縮小で乗り切る。その後は別途考える。
- ・会員誕生の3000円を徴収されていると思いますが、会員誕生の徴収分を一般会計に繰り込む案はいかか

しょうか？

- ・無駄遣いをしていないかの検証が必要だと思います。
- ・誕生日プレゼントなどメッセージだけでもいいと思います。

③会費についての質問

会費値上げは、やむを得ないと思う。

- はい 2名
- いいえ 9名
- その他 3名

会費へのお考えをお教え下さい。

- ・現状維持でいいと思います。
- ・正直に言えば会費を上げてほしくないです。
- ・近隣クラブの会費から、今の額は妥当であると思います。
- ・お昼ご飯はいるのか？事務局がいるのか？そんな問題になると思います。
- ・物価上昇、会員減少の現状を考えると仕方がない。
- ・会費の値上げは、頑張ってみて無理ならしょうがないとは思いますが、出来るだけ現状維持がいいです。
- ・特別委員会を立ち上げて議論すべきである。
- ・例会を最優先、それでも足りなければ会費アップ。
- ・当面は現状で乗り切る。コロナ収束後、必要なら会費アップ。
- ・会費UPは会員減少と、新会員の獲得困難につながると思っています。
- ・会費の値上げでいいと思います。平等ですから。
- ・経費削減をするのであれば先に進めた後考えたい問題だと思います。

④最重要課題についての質問

クラブ運営の根幹となる、会員増強に力を注ぐべきである

- 賛成 11名
- 反対 0名
- その他 3名
- ・今のコロナ禍の現状では難しいと思います。
- ・いまはないです。(会員増強)
- ・会員は、まず40名を目標に、会員各位が努力すべきである。
- ・地方の人口減少時期に多くの会員を増強するためには会員の枠組み自体を考え直さないと無理だと思います。
- ・継続して会員増強を行うことが必要。
- ・むつかしいとは思いますが、若社長とか知り合いに声掛けしてみてもは。
- ・コロナ収束後、本腰を
- ・今は無理、コロナ禍収束後アクション。
- ・職業別の未加入職種に新会員ターゲットを作成して、中長期的に入ってほしい方に声をかけ続けるべき。
- ・非常に難しい問題であると思います。人口減の中2640地区のクラブ自体の編成も考える必要がある。
- ・若い経営者は中々昼間の時間を取りにくいとは思いますが、増員気にしています。

⑤クラブ運営に、その他ご要望あればご記入ください。

- ・会長はじめ役員の方々いつもありがとうございます。
- ・魅力あるクラブのハードルは高いですね。会員が望むこと、望まないことをとりまとめて変革しましょう。
- ・コロナ禍ではむずかしいと思います。(クラブ運営)
- ・今、コロナ禍で動きにくいので、コロナ終息もあと少しと思うので、改めて有田ロータリークラブの今後について検討してはどうかと考えます。
- ・今はひっそりと繋いでいく時期、バタバタしない、活動はコロナ終息後。
- ・明るく、会員にとってためになるクラブ運営を期待いたします。
- ・コロナ禍の中、大変な状況が続いていますから落ち着くまでは今のやり方でいいと思います。良くなれば活発な活動ができると思います。

【第2班】



リーダー
木本 隆昭 君

開催日時:2022年2月8日(火)~10日(木)

開催場所:書面開催(アンケートにメールもしくはFAXで回答)

参加者:木本隆昭(リーダー)、菅原佳典(サブリーダー)、中元耕一郎(情報・研修委員長)、井上修平(会長エレクト)、川口健太郎(幹事)、石垣洋介、上野山捷身、應地正章、中村吉伸、宮井清明、岩本道弘、福原陽司、手島政嘉

①通年、一般会計不足をニコニコ会計から繰り入れしたクラブ運営となっております。この現状についてのご意見。

- (1)現状のやり方で行くべきだと思う 8人
 - (2)ニコニコ会計からの繰り入れはしない方がよい 3人
 - (3)その他 2人
- ・ニコニコ会計の本来の使用目的である事業が行われないうちでは現状で良いと思います。コロナ禍が落ち着き本来の事業ができるようになった時点で再考すればと思います。
 - ・理事会一任。

クラブ運営費についての質問

②ニコニコ会計から繰り入れ無しで、一般会計のみでクラブ運営するにはどうすればよいと思いますか？

経費(ランニングコスト)の削減を検討

- (1)賛成 6人
 - (2)反対 3人
 - (3)その他 4人
- ・理事会一任。

③クラブ運営費についてのご意見・アイデア

- ・よくわかりません。
- ・具体的にはすぐに思いつきません。
- ・削減できる箇所は少ないのでは。
- ・現状維持。
- ・タイミングもありますが、IT化を進める事が削減になると思います。
- ・理事会一任。
- ・大きな見直しは難しい。
- ・ニコニコ箱会計に頼ってうまくいっていればそれで良いかと思います。
- ・年会費の増額は入会の妨げになる可能性があります。
- ・新規事業の計画、特に国際奉仕など(ミャンマーなど)で支出がかさむ場合は特別会計として事前に徴収する方法もあります。
- ・従来やり方で1、2年様子を見たらどうですか？コロナも終息し、経済情勢も少し良くなってから、方針を考えたら良いと思う。
- ・南クラブでもわがクラブと同じやり方です。
- ・運営が行き詰まった時は特別寄付を徴収する必要があると考えます。
- ・食事提供周期の見直しなど(月1回にするなど)

④親睦活動イベント縮小・削減(誕生日プレゼント、新春例会規模削減、親睦旅行など活動経費削減、等)

- (1)賛成 6人
- (2)反対 4人
- (3)その他 3人

⑤経費削減のアイデア・ご意見

- ・削減は反対ですが縮小(予算の削減)は良いと思います。
- ・あまり経費を削減するとクラブの魅力がなくなる。
- ・現状維持。
- ・慣例的に行っているものについて見直しても良いのでは？
- ・理事会一任。
- ・若い人の意見に従います。
- ・結婚記念祝は別にいらんと思います。
- ・普通例会に戻ってから考える。コロナが終息してから。
- ・贈り物や記念品の価格を下げる。

⑥会費値上げは、やむを得ないと思う。

- (1)はい 3人
- (2)いいえ 6人
- (3)その他 4人

⑦会費についてのご意見・アイデア

- ・どうしてもクラブの運営ができないのなら若干の負担は仕方がないと思う。
- ・コロナ禍で経費があまりかからず、予算に余裕がある状況と思われる。今後、予算が苦しくなった時点で再考したら良いと考えます。
- ・現状維持。
- ・まずは削減案を提示し、今後のシミュレーションを行い

会費の上げ下げを決めては？

- ・理事会一任。
- ・ロータリー活動をもっと積極的にするなら、会費値上げはやむを得ないと思いますが、時期と地域、人数のうえから無理かも。
- ・クラブの運営が出来なければ仕方がないが、今すぐ値上げしなくても良いと思う。会員増強にも影響あるので。
- ・役員で充分考えられては如何ですか。
- ・年間20万ぐらいで良いと思います。

最重要課題について

⑧クラブ運営の根幹となる、会員増強に力を注ぐべきである。

- (1)賛成 8人
- (2)反対 1人
- (3)その他 4人

⑨会員増強への候補者名・ご意見

- ・会員増強はほとんどの会員が願っていると思うが、人口や経済が縮小していく地域社会の中で現実までではないと思う。ただ、それを心掛け続ける努力は必要だと思う。
- ・会員数の増加が会費問題に対する最良の解決策かと思えます。
- ・会員が少なくなると会計が苦しくなるので、できるだけ会員増強に力を入れるべきだと考えます。
- ・そうは簡単にはなかなか……
- ・ロータリークラブとは、どんなところかを発信する。
- ・理事会一任。
- ・一番難しい課題です。全員で知恵を出し、当たることでしょうか？
- ・同友会メンバーに頑張っていただく。医師会からは成川暢彦(桜ヶ丘病院院長)、山下理一郎(山下胃腸内科院長)。
- ・会員増強についての会を持ってよい。(候補者を会員皆で考える)
- ・会員増強が必須であると思えます。

⑩クラブ運営に、その他のご要望

- ・コロナ禍の状況でよくやっている思います。今は耐えしのぶだけで十分だと思います。ロータリーの灯火を消さないように、例会を持続させましょう。
- ・現状の年度末に繰り入れするのは良いとは思はないが致し方なし。
- ・組織として機能するよう会員の研修制度など必要と感じます。
- ・理事会一任。
- ・若い人の考えを尊重します。

～過ぎし時に敬意を表して～
ポールハリス語録

世界は一つの大オーケストラのようなもので、私たちひとりひとは、自らの取るにたりない一部を演奏しているに過ぎません。あなたの楽器や私の楽器の成否は、その音量によって決まるのではなく、周囲の楽器といかに完璧に調和しているかによって決まります。得意になって、自分のホルンを高らかに鳴り響かそうとする人は、調和を乱すだけでなく、他の奏者にとって迷惑となるのです。私たちは一人で演奏しているのではなく、大きな全体の中のほんの一部に過ぎないのです。ロータリーが、この事実を私たちに納得させることができるなら、私たちの生活は周囲の人々の生活と調和するようになるばかりでなく、その生活がより楽で、生きるに値するものになる、と気づくでしょう。
(ナショナル・ロータリアン、1912年3月号)

The world is a huge orchestra in which each one of us has his own little insignificant part to play. The success of your instrument and mine depends not upon the amount of noise they make, but upon how perfectly they harmonize with the instruments about us; and he who, sufficient unto himself, insists upon blowing his own horn in his own big and pompous way, find himself not only a maker of discords, but also persona non grata to all the rest of the band. If Rotary can bring home to us a fuller realization of the fact that we are not individual performers, but rather small parts of a stupendous entirety, not only will our lives harmonize better with the lives of those around us, but we will also find them easier and better worth living. (The National Rotarian, March 1912)

ポールハリス語録35 (2012年10月17日配信)
関場慶博 J R I C 理事 メーリングリストより引用

閉会・点鐘

[松村会長]

